

バックアップ アプリアランス Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズの ご紹介

arcserve Japan 合同会社

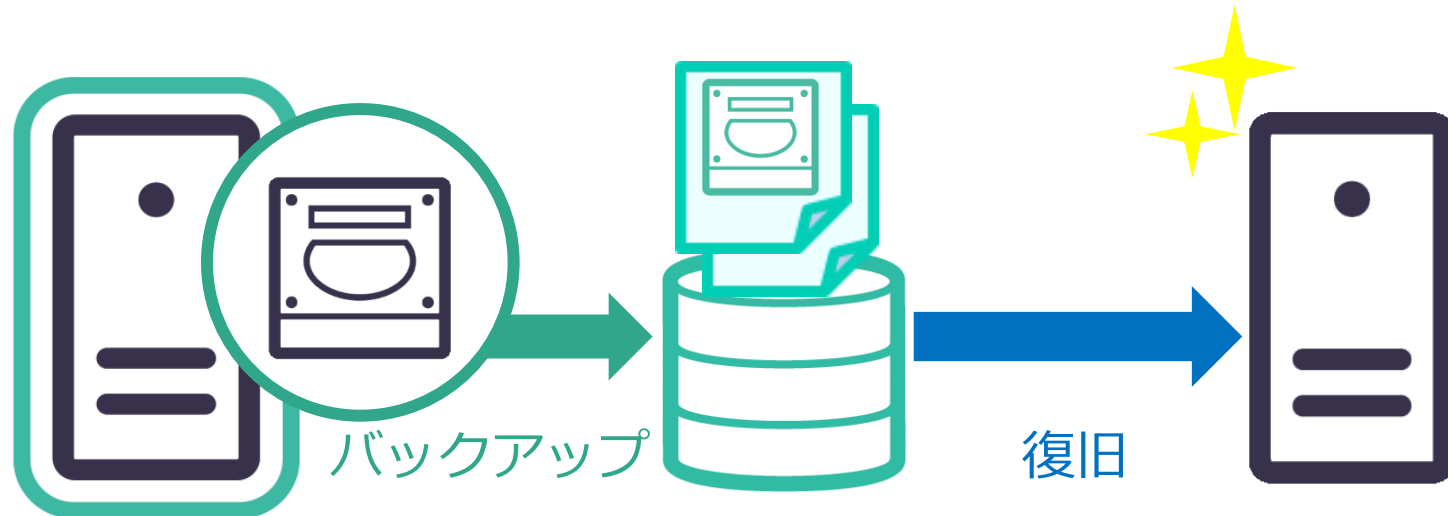
2026年1月

Rev 1.1

超簡単イメージバックアップ Arcserve UDP

イメージバックアップとは

イメージバックアップとはファイル単位ではなく、ハードディスク全体を丸ごとバックアップし、ファイルに保存するデータ保護手段。OSを含め一気にリカバリできるのでシステム全体を簡単に復旧できます

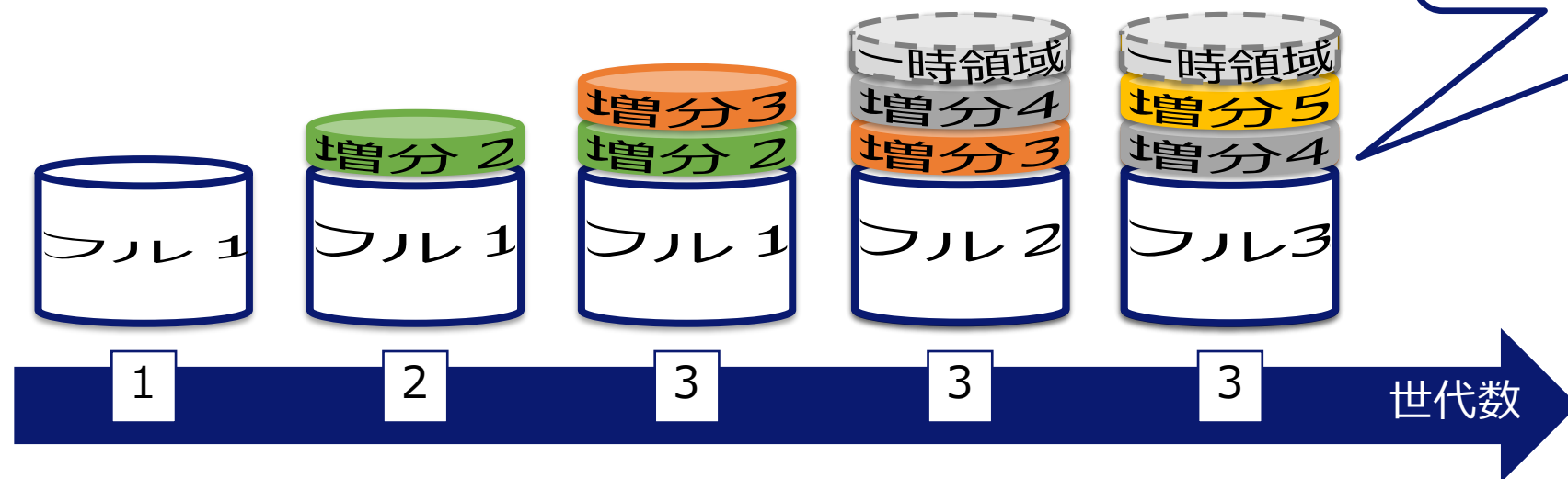


Arcserve UDP が選ばれる理由 ① : 短いバックアップ時間

Arcserve UDPなら**フルバックアップは初回だけ**。以降は増分だけなので効率的！！

- ▶ バックアップの世代数が設定された数(*)を超えた際、
最も古い増分とフルを合成させてフルバックアップの世代を更新

バックアップを3世代保存する場合



指定した保存数を超えるると最も古い増分データを合成 (マージ)

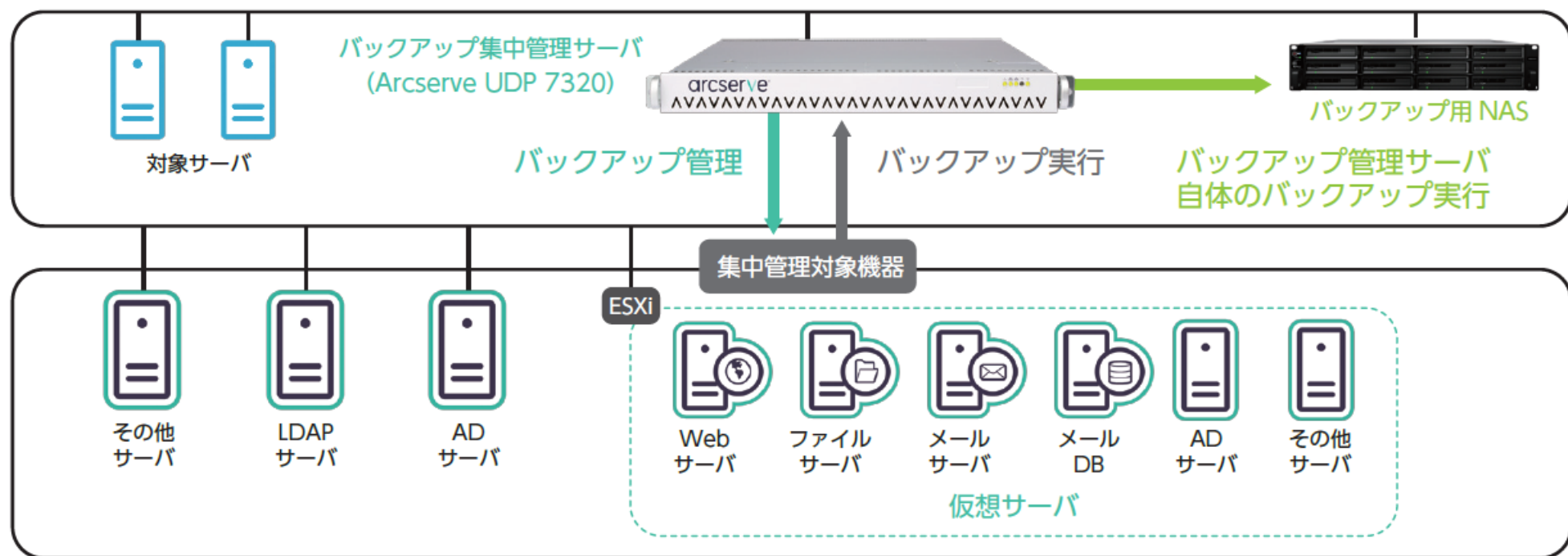
※初期設定では7個を保持(最大1440個まで設定可)

<事例> 霧島酒造様のバックアップデータ量推移



<事例> 甲南女子大学様のバックアップ構成

サーバごとにバラバラに行っていたバックアップを Arcserve UDP Appliance へ**一元化**！！
導入以前は**数日**かかっていたメールデータ復旧作業が**20分**程度に短縮！！



Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズとは？

Arcserve UDP をプリインストールしたバックアップ専用アプライアンス。
ストレージ容量 **8TB~80TB** の 6 モデルを用意しています。

従来モデルの 9000 v2 シリーズからライセンス体系を変更し、

5年間有効なサブスクリプション ライセンスが同梱*¹されています。

Premium Edition 搭載モデルを新設し、**高度な機能がお求めやす**くなりました。



Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズ ここがすごい！

1、インストール不要の簡単セットアップ

バックアップ/リカバリに必要な管理コンポーネントはすべてインストール済。ウィザードに従い基本的な設定をするだけで**すぐに使えます**。

2、バックアップ用に最適化されたハードウェア

重複排除機能用の SSD を標準搭載。**メモリ/SSD のサイジングが必要ありません**。
バックアップ先の容量を 8TB ~ 80TB の間で選ぶだけ！

3、Arcserve UDP のライセンスを使い放題

バックアップ対象の数や容量に関わらず、Arcserve UDP Advanced Edition / Premium Edition のライセンスが使い放題。後から**サーバ台数が増えても安心**です。

Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズ メンテナンス内容

- ・ 納品から**5年間**の使用権とメンテナンスが標準セット
- ・ サポートへのお問い合わせはソフトウェア版と同じ窓口で対応
- ・ ハードウェア故障には**オンサイト**（現地訪問）対応が可能
（現地訪問は問題特定から4時間駆けつけ目標※）
- ・ Arcserve UDP の**無償アップグレード**が可能 ※※

- ※ サービス拠点(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)より30km圏内での目標となります。
- ※ サポートの受付/作業時間は平日9時～17時30分です。ハードウェア サポートの受付/作業時間を延長する「24時間/365日 ハードウェア サポート オプション」もあります。
- ※※ アップグレード作業はお客様にて実施いただきます。

バックアップ容量がオーバーしたら？

Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズは台数を増やしてスケールアウトが可能。
2台目以降のバックアップサーバも1つの画面で**統合管理**できます！

1台目の Arcserve UDP 9200 v2 S でバックアップ

2台目でバックアップ



Backup

Backup

2台目
の設定も
こちらで
管理



ストレージ/テープへの接続

イーサネット、SAS、FC などのカードを増設できます。

より**高速**なバックアップ/リストアや、**テープデバイス**への2次バックアップが可能になります。

[Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズ (1U) 背面パネル]

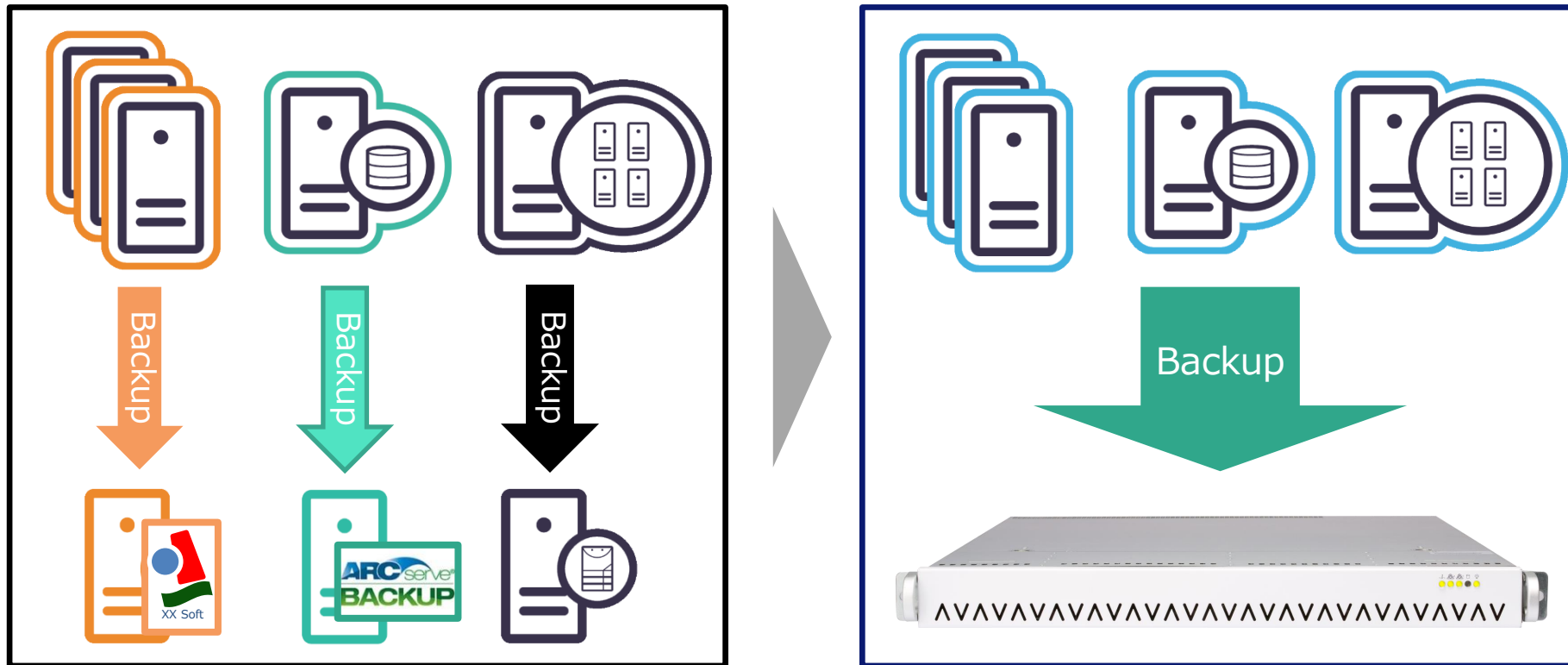


PCI-E 3.0 増設スロット

- ※ 増設カードはオプションとして購入する必要があります。
- ※ 1Uモデルは最大2つ、2Uモデルは最大5つ増設できます。





(利用例 1) 混在環境の統合管理

システムごとにバラバラで、時間がかかったバックアップの運用管理を
Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズで**シンプルに統合**できます！



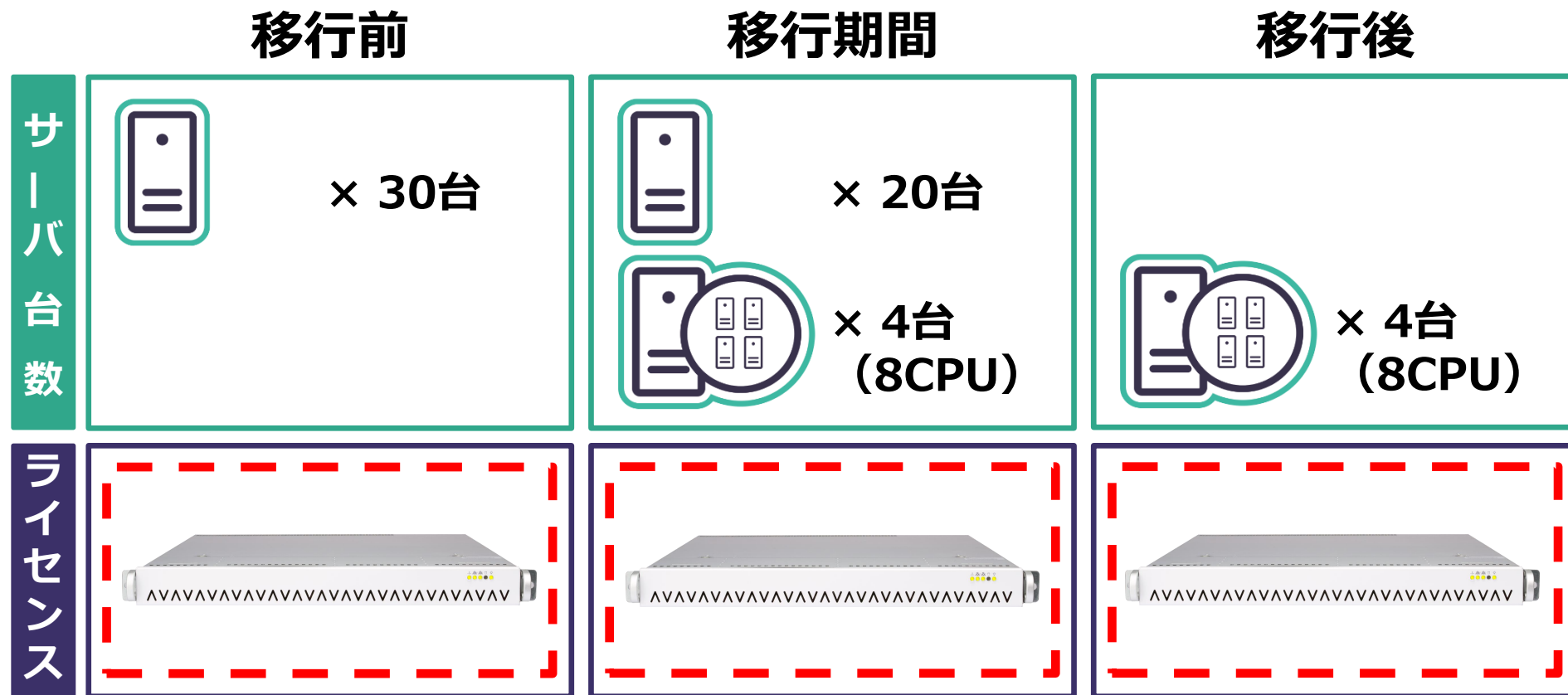
(利用例 2) 仮想化基盤の移行を検討中のお客様へ

バックアップ対象に対して課金されるライセンス体系だと、
過渡期に無駄が出る可能性があります。

	移行前	移行期間	移行後
サーバ台数	 × 30台	 × 20台  × 4台 (8CPU)	 × 4台 (8CPU)
ライセンス	UDP per Server ×30	UDP per Server ×20 UDP Per Socket ×8	UDP Per Socket ×8

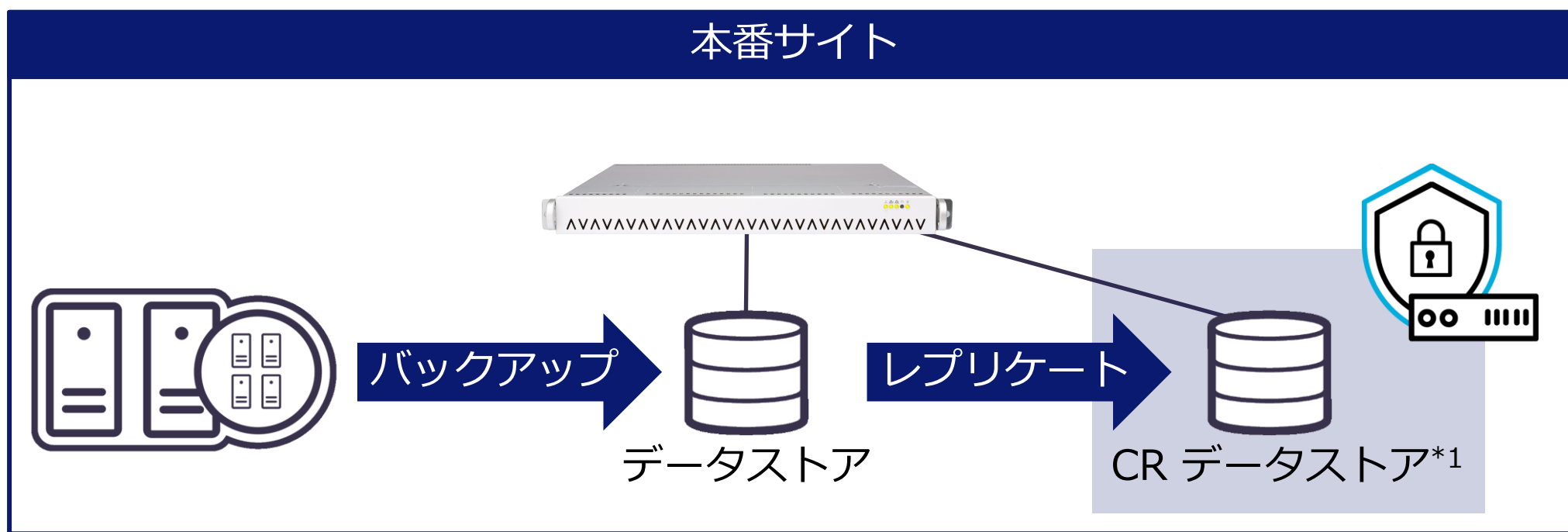
(利用例 2) 仮想化基盤の移行を検討中のお客様へ

ライセンスが使い放題の Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズなら
移行前も移行期間も移行後も**無駄なく**そのまま使えます！



(利用例3) イミュータブルストレージへ二次バックアップ

ランサムウェア攻撃に備え、Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズ内の 1 次バックアップデータをイミュータブルストレージ Arcserve Cyber Resilient Storage (CRS) にレプリケート



*1 サイバー レジリエント データストアの略

参考：[イミュータブルストレージ Arcserve CRS シリーズの紹介資料](#)

Arcserve UDP 9200 v2 S / 9220 v2 S ハードウェア仕様

	Arcserve UDP 9200 v2 S	Arcserve UDP 9200-6 v2 S	Arcserve UDP 9220 v2 S	Arcserve UDP 9220-6 v2 S
オペレーティングシステム	Windows Server 2022 Standard Edition			
ストレージ容量 (RAID設定)	12TB (RAID5)	8TB (RAID6)	24TB (RAID5)	16TB (RAID6)
ハードディスクドライブ	4TB SAS × 4		8TB SAS × 4	
ソリッドステートドライブ (重複排除用)	240GB SSD		480GB SSD	
プロセッサ	Intel Xeon Silver 4310T, 10コア 20スレッド, 2.3 GHz			
RAM	32GB			
IPMI & ネットワークインターフェース	IPMI × 1 & 10 GbE (RJ45) × 2			
拡張スロット	PCI-E 3.0 スロット × 2 にオプションのSAS/FC/イーサネットカードを増設可能			
寸法 (H x W x D)	4.3 x 43.7 x 65cm (1U - 19" ラックマウントレール付)			
重量	最大14.8kg			
電源ユニット	700/750W × 2 (リダンダント)			
消費電力 (起動時/アイドル時/高負荷時)	308W(311VA)/134W(138VA)/226W(228VA)			
電源定格	100v-240v AC 50/60Hz			

(※ 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト)

Arcserve UDP 9400 v2 S / 9420 v2 S ハードウェア仕様

	Arcserve UDP 9400 v2 S	Arcserve UDP 9420 v2 S
オペレーティングシステム	Windows Server 2022 Standard Edition	
ストレージ容量 (RAID設定)	40TB (RAID6)	80TB (RAID6)
ハードディスクドライブ	4TB SAS × 12	8TB SAS × 12
ソリッドステートドライブ (重複排除用)	960GB SSD	1920GB SSD
プロセッサ	Intel Xeon Silver 4310T, 10コア 20スレッド, 2.3 GHz x 2	
RAM	64GB	
IPMI & ネットワークインターフェース	IPMI x 1 & 10 GbE (RJ45) x 2	
拡張スロット	PCI-E 3.0 スロット × 6 にオプションのSAS/FC/イーサネットカードを増設可能	
寸法 (H x W x D)	8.9 x 43.7 x 64.7cm (2U - 19" ラックマウントレール付)	
重量	最大25.8kg	
電源ユニット	1000/1200W x 2 (リダンダント)	
消費電力 (起動時/アイドル時/高負荷時)	694W(698VA)/280W(284VA)/461W(464VA)	
電源定格	100v-240v AC 50/60Hz	

(※ 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト)

選べる2種類の Edition

Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズでは **Premium Edition 搭載モデル** を新設！
 企業/組織の**データ レジリエンスを高める**機能が手軽に使用できます。

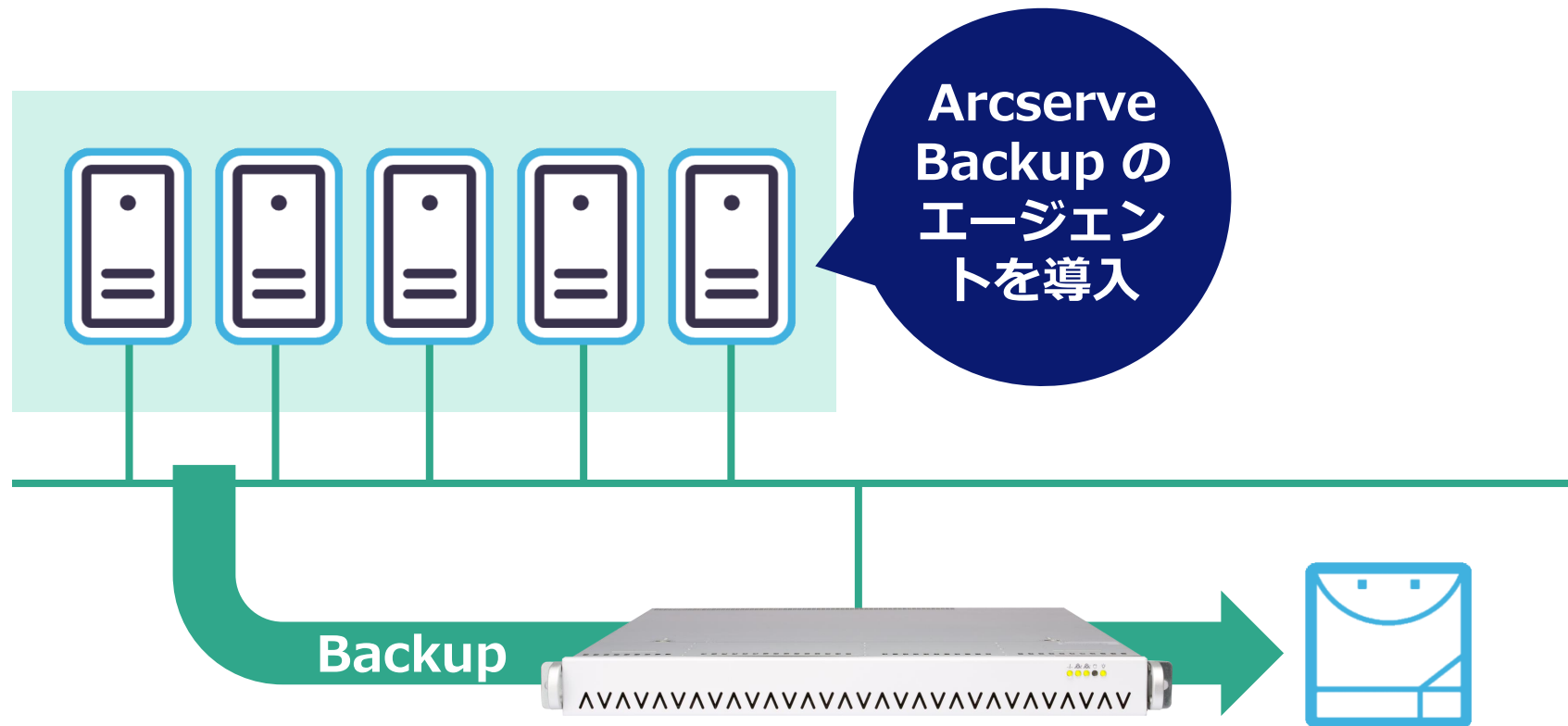
Edition 別機能一覧	Advanced	Premium	利用できる製品	
イメージバックアップ / 共有フォルダ (CIFS/NFS *1) のバックアップ	●	●	Arcserve UDP	
バックアップデータの重複排除や転送 (レプリケート)	●	●		
統合管理	●	●		
仮想マシンのエージェントレスバックアップ (vSphere/Hyper-V/AHV ※1)	●	●		
仮想スタンバイ/インスタントVM	●	●		
バックアップデータのテープ保管 (D2D2T)	●	●		
VSS ライタを利用したアプリケーションのオンラインバックアップ	●	●		
アシュアードリカバリとSLAレポート	●	●		
役割ベースの管理		●		
ハードウェアスナップショット対応 (NetApp/Nimble/3PAR/DellEMC Unity)		●		
Oracle RMAN と連携したバックアップ		●	Arcserve Backup	
アシュアードセキュリティ (マルウェア スキャン / AI 異常検出)		●		
クラウド (AWS/Azure/Google Cloud) データストア		●		
Arcserve Backup すべての機能/全エージェント/全オプションの利用 *2		●		
Arcserve Replication ファイル サーバのデータ複製		●		Arcserve Replication

*1 : 購入時に申請いただく事で、AHV 上の仮想マシンまたは Nutanix Files のバックアップを行うための Advanced Edition for Nutanix ライセンスを提供いたします。

*2 : 「すべての機能/全エージェント/全オプション」とは、日本語の動作要件に記載されている製品 (機能) が対象です。

Premium Edition 搭載モデルの利用例

Arcserve UDP 9000 v2 S に接続したテープ装置へ一次バックアップ。
Premium Edition にアップグレードする事で、Arcserve UDP 9000 v2 S シリーズのストレージと同容量までのバックアップ対象データを **Arcserve Backup** で守れます。



※ 上記の構成ではテープ装置に接続するための SAS/FC オプション カードも必要です。

価格表（本体）

製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
本体製品（Advanced Edition 搭載モデル *1）		
Arcserve UDP 9200 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID5、12TBモデル)	¥7,100,000	¥7,810,000
Arcserve UDP 9200-6 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID6、8TBモデル)	¥6,300,000	¥6,930,000
Arcserve UDP 9220 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID5、24TBモデル)	¥9,100,000	¥10,010,000
Arcserve UDP 9220-6 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID6、16TBモデル)	¥8,100,000	¥8,910,000
Arcserve UDP 9400 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID6、40TBモデル)	¥13,500,000	¥14,850,000
Arcserve UDP 9420 v2 S Appliance Advanced Edition (RAID6、80TBモデル)	¥18,100,000	¥19,910,000
本体製品（Premium Edition 搭載モデル）		
Arcserve UDP 9200 v2 S Appliance Premium Edition (RAID5、12TBモデル)	¥9,700,000	¥10,670,000
Arcserve UDP 9200-6 v2 S Appliance Premium Edition (RAID6、8TBモデル)	¥7,900,000	¥8,690,000
Arcserve UDP 9220 v2 S Appliance Premium Edition (RAID5、24TBモデル)	¥12,200,000	¥13,420,000
Arcserve UDP 9220-6 v2 S Appliance Premium Edition (RAID6、16TBモデル)	¥10,900,000	¥11,990,000
Arcserve UDP 9400 v2 S Appliance Premium Edition (RAID6、40TBモデル)	¥17,700,000	¥19,470,000
Arcserve UDP 9420 v2 S Appliance Premium Edition (RAID6、80TBモデル)	¥23,000,000	¥25,300,000

※ サブスクリプション（Subscription）ライセンスが同梱されていることから、製品名称に「S」を含んでいます。
前シリーズの 9000 v2 シリーズとお間違えなきようご注意ください。

※ 最新の価格表は <https://www.arcserve.com/ja/licensing-options> でご確認ください。

*1 Nutanix AHV、Nutanix Files 環境をご利用予定の方は購入時に申請していただければ無償で対応するライセンスを提供します。

価格表 (オプションカード)

製品名称	価格 (税別)	総額 (税込価格)
オプションカード		
4 port 1GbE network card (4 x RJ45 Copper)	¥149,000	¥163,900
2 port 25GbE network card (2 x SFP28) - Mellanox MCX4121A-ACAT*1	¥136,000	¥149,600
2 port 10GbE network card (2 x RJ45 Copper) - Intel X550T2	¥316,000	¥347,600
HBA for Tape Devices - Broadcom SAS 9500-8e (2 x SFF8644 connector)	¥382,000	¥420,200
16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter (1 x 16Gb Fibre) - Marvell QLE2690-SR-CK *6	¥648,000	¥712,800
16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter (2 x 16Gb Fibre) - Marvell QLE2692-SR-CK *6	¥944,000	¥1,038,400

※ 最新の価格表は <https://www.arcserve.com/ja/licensing-options> でご確認ください。

※ 各製品にはケーブルは付属しません。別途ご用意ください。

*1 Mellanox社製の Direct Attached Cable または SFP+ / SFP28 トランシーバをご利用いただくことを推奨します。

*6 納品までに通常よりもお時間をいただいております。詳しくは Arcserve ジャパン・ダイレクト または Arcserve 営業までご相談ください。

価格表（その他のオプション）

製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
ソフトウェア アップグレード オプション *1		
Software Upgrade to Premium Edition	¥3,200,000	¥3,520,000
Software Upgrade to Premium Plus Edition	¥6,400,000	¥7,040,000
Software Upgrade to Premium Edition（9400/9420 v2 S用）	¥6,400,000	¥7,040,000
Software Upgrade to Premium Plus Edition（9400/9420 v2 S用）	¥12,800,000	¥14,080,000
サポート オプション		
24時間365日 ハードウェア サポート オプション *2	¥1,780,000	¥1,958,000
Arcserve バリュースポート(1ヶ月) *3	¥111,000	¥122,100
Arcserve UDP 9200/9200-6 v2 S (12TB/8TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥53,000	¥58,300
Arcserve UDP 9220/9220-6 v2 S (24TB/16TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥93,000	¥102,300
Arcserve UDP 9400 v2 (40TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥129,000	¥141,900
Arcserve UDP 9420 v2 (80TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥267,000	¥293,700

※ 最新の価格表は <https://www.arcserve.com/ja/licensing-options> でご確認ください。

*1 Arcserve UDP Advanced Edition を上位 Edition にアップグレードするためのオプションです。

*2 弊社営業時間外の間合せ受付はハードウェアの問題に限ります。切り分け後にソフトウェアの問題だと判明した場合は、翌営業日以降の対応になります。

*3 バリュースポートを同時に購入する事で、納品日より30日以内先の日付をメンテナンス開始日として指定できます。バリュースポート期間中のテクニカルサポートは平日9:00-17:30での対応となります。

*4 HDD/SSDを修理交換する際に、故障部品を弊社に返却することなくお客様にお引渡しするサービスです。HDD/SSD障害と判断された場合にのみ有効なオプションで、ソフトウェア障害等には適用されませんのでご注意ください。また、ホルダーは交換・返却頂く必要がございますのでご了承ください。

もっと詳しく知りたい方は

Arcserve.com/ja のカタログ センターに掲載されている設定手順書やお客様導入事例、「よくある質問と回答」もご覧ください。

Arcserve カタログセンター

検索



▼ UDP Appliance

UDP Appliance - カタログ:

[UDP Appliance 9000 v2 シリーズ製品カタログ](#)

[UDP Appliance 9000 シリーズ製品カタログ](#)

[UDP Appliance 8000 シリーズ製品カタログ](#)

[UDP Appliance 7000 シリーズ製品カタログ](#)

UDP Appliance - プレゼンテーション:

[UDP Appliance 9000 v2 シリーズご紹介プレゼンテーション](#)

[UDP Appliance 9000 シリーズご紹介プレゼンテーション](#)

[UDP Appliance 8000 シリーズご紹介プレゼンテーション](#)

[UDP Appliance 7000 シリーズご紹介プレゼンテーション](#)

UDP Appliance - よくある質問と回答:

arcserve®

FAQ / Arcserve UDP Appliance / Rev1.2

よくあるご質問と回答

Arcserve® UDP 9000 v2 Appliance シリーズ

- 1. Arcserve UDP 9000 v2 Appliance シリーズ（以下 Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ）では標準でどの機能が使えますか？**
Arcserve UDP Advanced Edition および Arcserve UDP Advanced Edition for Nutanix の機能が使えます。Arcserve UDP Premium Edition 以上の機能である「役割ベースの管理」や「ハードウェア スナップショット対応」などを使用するには、ソフトウェア・アップグレード オプション製品をご購入ください。
- 2. 仮想スタンバイやインスタント VM 機能を使用できますか？**
はい、オプション不要で使用できます。パフォーマンスの観点で、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ とは別の仮想基盤に仮想マシンを作成することをお勧めします。
- 3. Nutanix AHV 上の仮想マシンや Nutanix Files を保護できますか？**
はい、Nutanix AHV 上の仮想マシンのエージェントレス バックアップや Nutanix AHV を利用した仮想スタンバイ/インスタント VM、Nutanix Files のスナップショットと連携したバックアップが可能です。Nutanix AHV/Nutanix Files をご利用予定である事を Arcserve UDP 9000 v2 シリーズの購入時に [Registration form](#) に記入いただくか、[無償アップグレード申請フォーム](#)でお知らせいただければ、必要なライセンスを提供いたします。

Arcserve UDP Appliance 導入事例

江別市役所 様

Nutanix AHV と VMware のバックアップ一本化。バックアップの質が向上したことが一番の効果。

arcserve® Arcserve UDP Appliance 導入事例

Nutanix AHVの新仮想化基盤のバックアップに Arcserve UDP Applianceを採用

エージェントレス、60%減の重複排除などで運用負荷も軽減

ユーザープロフィール
業種: 自治体
会社名: 北海道江別市

課題 経緯 導入 効果

江別市や札幌市などの2019年のソフトウェアシステムは、従来の物理サーバーを基盤としたバックアップシステムを採用していたが、バックアップに多大な時間がかかっていた。そのため、良質なデータ保護を実現したArcserve UDP Applianceを導入し、バックアップ専用アプライアンスを導入した。結果、Arcserve UDP Applianceが採用されたことで、バックアップ時間が大幅に短縮され、災害に備えた遠隔地でのデータ保管を両立した。

2019年のソフトウェアシステムは、従来の物理サーバーを基盤としたバックアップシステムを採用していたが、バックアップに多大な時間がかかっていた。そのため、良質なデータ保護を実現したArcserve UDP Applianceを導入し、バックアップ専用アプライアンスを導入した。結果、Arcserve UDP Applianceが採用されたことで、バックアップ時間が大幅に短縮され、災害に備えた遠隔地でのデータ保管を両立した。

南足柄市役所 様

バックアップ時間の大幅短縮と、災害に備えた遠隔地でのデータ保管を両立！

arcserve® Arcserve UDP Appliance 導入事例
南足柄市

バックアップ専用アプライアンスの導入で課題を解消！バックアップ時間の大幅短縮と運用効率化を実現

南足柄市の西側に位置する南足柄市役所は、情報システムやそのインフラの運用管理で災害対策に力を入れている。バックアップ専用では、遠隔地保管のためのLTOを利用していたが、バックアップに多大な時間がかかっていた。そのため、良質なデータ保護を実現したArcserve UDP Applianceを導入し、バックアップ専用アプライアンスを導入した。結果、Arcserve UDP Applianceが採用されたことで、バックアップ時間が大幅に短縮され、災害に備えた遠隔地でのデータ保管を両立した。

2019年を境に、今後6年以内にも導入が見込まれることから、大容量対応が求められる。Arcserve UDP Applianceへの要件も満たすことができた。

製品	Arcserve UDP Appliance
目的	バックアップ時間の短縮 / バックアップ運用の効率化
課題	<ul style="list-style-type: none"> • LTOでのバックアップに時間がかかっていた • 現在のシステムでも、データの大量化に対応できない可能性 • バックアップ対象データの増加に伴うライセンスコストの増加
導入経緯	<ul style="list-style-type: none"> • 一次バックアップ時間が大幅短縮、LTOに二次バックアップ先として活用可能 • バックアップ対象データの増加にも対応できる体制の確立 • バックアップ運用効率化が実現し、コスト削減に貢献
効果	<ul style="list-style-type: none"> • バックアップ専用アプライアンス導入により、一次バックアップが高速に実行できる。LTOでの二次バックアップにより災害対策も実現
理由	データ保護に特化したアプライアンス導入で、一次バックアップが高速に実行できる。LTOでの二次バックアップにより災害対策も実現

ユーザープロフィール
業種: 自治体
会社名: 南足柄市
https://www.city.nanazu-shi.aizawa.go.jp/

丸和運輸機関 様

バックアップ運用コストを年間457万円削減しながら、事業継続体制を確立！

arcserve® Arcserve UDP Appliance 導入事例
株式会社 丸和運輸機関

「重要サーバーのバックアップが取れない」をバックアップ専用アプライアンスで解決！
運用コストは年間437万円削減

株式会社 丸和運輸機関は、2011年に設立した物流センターを開設し、本社の業務システムの一部バックアップデータを転送して運用管理するバックアップ専用体制を実現した。しかし、運用していたバックアップソフトウェアでは、システム稼働時の業務負荷を回避して導入した高可用性サーバー（FT サーバー）のバックアップが困難であった。また、LTOでの保管コストも高額の課題を抱えていた。Arcserve UDP Appliance にリニューアルしたことで、FT サーバーのバックアップが可能となり、運用後、任意にバックアップデータ保管の削減や保存容量の増大も可能となり、運用コストの削減に貢献した。運用コストは年間437万円削減、運用コストは年間437万円削減、運用コストは年間437万円削減。

株式会社 丸和運輸機関は、2011年に設立した物流センターを開設し、本社の業務システムの一部バックアップデータを転送して運用管理するバックアップ専用体制を実現した。しかし、運用していたバックアップソフトウェアでは、システム稼働時の業務負荷を回避して導入した高可用性サーバー（FT サーバー）のバックアップが困難であった。また、LTOでの保管コストも高額の課題を抱えていた。Arcserve UDP Appliance にリニューアルしたことで、FT サーバーのバックアップが可能となり、運用後、任意にバックアップデータ保管の削減や保存容量の増大も可能となり、運用コストの削減に貢献した。運用コストは年間437万円削減、運用コストは年間437万円削減、運用コストは年間437万円削減。

製品	Arcserve UDP Appliance
目的	BCP対策 / コスト削減
課題	<ul style="list-style-type: none"> • 高可用性サーバー（FT サーバー）のバックアップができませんでした • バックアップのための大量の保存容量の確保、削減が必要でした • ライセンス、保守費用が高額のため、運用コストが高まっていた
導入経緯	<ul style="list-style-type: none"> • 高可用性サーバーのバックアップが実現し、経営方針に即した、BCP対策の強化が可能 • 任意にバックアップデータの削減や保存容量の増大も可能となり、運用コストの削減に貢献
効果	<ul style="list-style-type: none"> • 高可用性サーバー（FT サーバー）を含めた、すべての重要データを保護するバックアップ体制の確立 • 任意にバックアップデータの削減や保存容量の増大も可能となり、運用コストの削減に貢献 • バックアップ運用にかかるコストを年間437万円削減 • 任意にバックアップデータの削減や保存容量の増大も可能となり、運用コストの削減に貢献 • Arcserve ハンズオントレーニングの活用で社内ノウハウが蓄積
理由	高可用性サーバー（FT サーバー）を含めた、すべての重要データを保護するバックアップ体制の確立。任意にバックアップデータの削減や保存容量の増大も可能となり、運用コストの削減に貢献。バックアップ運用にかかるコストを年間437万円削減。任意にバックアップデータの削減や保存容量の増大も可能となり、運用コストの削減に貢献。Arcserve ハンズオントレーニングの活用で社内ノウハウが蓄積

ユーザープロフィール
業種: 物流
会社名: 株式会社 丸和運輸機関
https://www.marumaru.co.jp/

導入前にご参加ください：無償ハンズオン トレーニング



Arcserve
Backup

1. 入門編



Arcserve
UDP

1. 前編 (Agent)
2. 後編 (Server)
3. Linux Agent 編



Arcserve
Replication/
High Availability

1. 前編 (Replication)
2. 後編 (HA)



お申込 & 詳細はWebで！

Arcserve セミナー

検索

